

令和3年度から令和6年度まで使用する中学校用教科書の採択結果について

かほく市教育委員会

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（昭和38年法律第182号）第13条第5項の規定により、令和3年度から令和6年度まで使用する中学校用教科書について、下記のとおり採択しました。

【中学校用教科書】

種 目	発行者番号	発 行 者
国 語	3 8	光村図書出版株式会社
書 写	3 8	光村図書出版株式会社
社会（地理的分野）	2	東京書籍株式会社
社会（歴史的分野）	2	東京書籍株式会社
社会（公民的分野）	2	東京書籍株式会社
地 図	4 6	株式会社帝国書院
数 学	2	東京書籍株式会社
理 科	6 1	株式会社新興出版社啓林館
音楽（一般）	2 7	株式会社教育芸術社
音楽（器楽合奏）	2 7	株式会社教育芸術社
美 術	3 8	光村図書出版株式会社
保 健 体 育	2	東京書籍株式会社
技術・家庭（技術分野）	2	東京書籍株式会社
技術・家庭（家庭分野）	2	東京書籍株式会社
英 語	2	東京書籍株式会社
道 徳	1 1 6	日本文教出版株式会社

令和3年度使用中学校用教科用図書の採択理由（ 1 ）

（かほく市教育委員会）

種 目	国 語	発行者番号・略称	3 8 光 村
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「思考の地図」が折り込みで配置され、思考を広げる、整理する、深めるためのツールが図解で具体的に示され活用しやすい工夫がされている。 ・「思考のレッスン」や「情報整理のレッスン」が例示や図解を用いて系統的に説明されている。 ・各教材の最後に「学習」のページがあり、「見通しをもつ」「捉える」「読み深める」「考えをもつ」「振り返る」と学習過程が示されており、主体的に学ぶ工夫がされている。 ・「情報社会を生きる」では、情報の収集、正確な読み取り、必要な情報の選択をし、情報を分析して考えをまとめる力がつけられるようになっている。 ・読むことの教材の後ろにある「学習」では、学習の流れが明確に示され、作品を読み深めたり、自分の考えを持ったりするための言語活動が書かれている。 ・「学習の窓」では、その学習に関わる既習事項やこれから学ぶことが、見出しの横に系統的に明記されているため、見通しをもって学習に取り組める工夫がされている。 ・巻末の「学習を広げる」では、教材で使用された古典の作品のその他のエピソードが収録されており、読み比べや読書の世界を広げる工夫がされている。 ・「話す・聞く」「書く」の教材では、「振り返る」のあとに「つなぐ」が設定されており、学習を日常生活や学校生活、将来へと関連付ける視点を持てるような工夫がされている。 		

種 目	書 写	発行者番号・略称	3 8 光 村
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の窓」では、ほかの文字を書くときにも普遍的に活用できる原理・原則が示されている。 ・学びの定着を図るための「書写ブック」が巻頭に収録されており、硬筆での繰り返し練習ができるようになっている。 ・学習の進め方が「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の三段階で構成され、気づきから定着への流れを意識させ、生徒が見通しを持ち主体的に学ぶ工夫がされている。 ・「確かめよう」では、筆使いのポイントが写真で図解されており、実際の筆の動きが目で見え確かめられる工夫がされている。 ・2年生では、場面に応じて文字を使い分ける必要性を話し合う活動が設定されている。 		

令和3年度使用中学校用教科用図書の採択理由（ 2 ）

（かほく市教育委員会）

種 目	社会（地理的分野）	発行者番号・略称	2 東 書
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・小单元ごとの「学習を確認しよう」のコーナーで、学習の確認ができ、また、言語活動の課題を提示することで、表現力が育成できるよう配慮されている。 ・導入では、生徒と先生のキャラクターによる吹き出しによって、生徒の興味や関心を高めるとともに、導入資料を読み取る視点を気付かせるよう工夫されている。 ・東日本大震災を始めとした様々な自然災害とその地理的要因、復旧・復興のための関係機関の連携や防災・減災に向けた取組を取り上げ、防災・安全への主体的な意識や態度が養えるよう工夫されている。 ・世界の諸地域や日本の諸地域の導入では、特徴ある自然や文化などの大きな写真と地図を見開きで掲載することで、地域の概観を捉えやすくするよう配慮されている。 ・時差など理解するための時間がかかる内容について丁寧な資料が掲載されている。 ・授業1時間ごとにチェック、トライで表され、復習をすることができる。 		

種 目	社会（歴史的分野）	発行者番号・略称	2 東 書
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・单元ごとに「チェック」や「トライ」の設問が設定されており、「チェック」は本文からの抜き出しなど簡単な問いとなっている。一方「トライ」はキーワードなどに合わせて思考を問う問題となっており、習熟度に合わせて取り組めるようになっている。 ・今まで以上に資料が充実しており、特に地図資料の充実が見られる。 ・他教科で学ぶ内容、他教科との関連性が示されており、社会的事象などについて、教科をこえて理解が深まるようになっている。 ・巻末の用語解説が充実しており、知識を深める手助けとなる。 ・「まとめの活動」では各時代の特色について、様々な手法を使ってまとめられるよう工夫されている。また「みんなでチャレンジ」の部分ではグループ活動を通じて、根拠をあきらかにして説明する力がつけられるよう配慮されている。 		

令和3年度使用中学校用教科用図書の採択理由（ 3 ）

（かほく市教育委員会）

種 目	社会（公民的分野）	発行者番号・略称	2 東 書
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の「導入の活動」では、生徒が思わず考えたくなるような興味深いテーマが取り上げられており、これから始まる学習に対して関心が高まるよう工夫されている。また、考えをまとめるためのさまざまな思考ツールが紹介されており考えやすい。 ・学習課題に対し、まとめが「チェック」「トライ」「探究のステップ」と順序だてて進み、自然と思考が深まるように工夫されている。 ・各章の「まとめの活動」では、「導入の活動」と共通の題材を使い、その章での既習事項を使ってさらに考えを深めることができるような流れになっている。また、思考ツールが多く紹介されており、文章を書くのが苦手な生徒でもまとめやすいよう工夫されている。 ・見開き1ページでの本文と写真・資料・コラムの配置が統一されていて見やすい。また、ユニバーサルデザインフォントが採用されており、どの生徒にとっても読みやすい。 ・「公民にチャレンジ」「公民にアクセス」など、思考を深めやすいコーナーが1單元ごとにほとんどある。 ・話し合いの題材が豊富である。また、中学生が考えるのにちょうど難易度がいい。 		

種 目	地 図	発行者番号・略称	4 6 帝 国
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・A4版のため、全体的な資料が大きく見やすいようになっている。 ・世界の生活・文化では、写真資料を豊富に使ってそれぞれの特色がつかみやすいように工夫がされている。 ・世界や日本の諸地域では、ともに資料図が豊富にあり、調べ学習がしやすいように工夫がされている。 ・世界の諸地域や日本の地方において、地形の特徴を見やすく表現した鳥瞰図をイラストで記されており、生徒が興味・関心を持ちたくなるような工夫がされてある。 ・日本の自然災害・防災では、日本に起こりやすいさまざまな自然災害とその防災の取組がイラストでわかりやすく記されており、ハザードマップを取り上げて防災意識が高められるような配慮がされている。 ・オリンピック、パラリンピックに関する資料を取り上げることで、興味を持って地理学習に取り組めるよう工夫がされている。 ・日本の生活・文化では、伝統的な町並みの保存や方言、伝統的な料理や各地方の特色ある行事などについて多数取り上げている。 ・ウェブページのアドレスや二次元コードが載せてあり、ウェブコンテンツをみることができる。 		

令和3年度使用中学校用教科用図書の採択理由(4)

(かほく市教育委員会)

種目	数 学	発行者番号・略称	2 東 書
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・「例」と類似した問題や巻末の「補充の問題」が設けられ、個に応じて基礎的・基本的な知識・技能が定着するよう配慮されている。 ・「章のとびら」では生徒の疑問を引き出して学習への動機づけがされ、節の導入では「?(疑問)」からこれからの学びへと向かう意欲が高まるよう配慮されている。 ・「学習課題」がページのトップに黄色の囲みで示され、何をねらっているかわかるよう工夫されている。それに応じた問題「Q」が設定され、 、 、 、 のステップで学びを進めやすくしている。 ・「深い学び」のページには、問題発見・解決の過程を意識して取り組めるようになっており、考える力が身につくよう工夫されている。 ・「活用の問題」では、自ら考え表現する力を高められるように記述式問題が設けられ、巻末の「解答」に考え方や説明のポイントが示されているのがよい。 ・「学びをひろげよう」では、数学と実社会や職業とのつながりを知り、数学の有用性を実感できるよう配慮されている。 ・「数学のまど」、「数学の自由研究」では、「発展」マークを示した箇所、高等学校での学習内容が取り上げられ、系統性を意識しながら学習できるよう配慮されている。 		

種目	理 科	発行者番号・略称	6 1 啓 林 館
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・「サイエンス資料」や「観察スキル」、「実験スキル」では、基本的な観察・実験操作や器具、グラフの書き方が示され、理科で大切な技能習得のための工夫がされている。 ・観察・実験のページにある「探究のふり返し」の項目では、振り返るポイントを考えさせ、何を学んだかを意識させる配慮がされている。 ・「基本チェック」「学習のまとめ」で基礎・基本の確認を図り、さらに、「活用してみよう」「力だめし」で、活用力が身に付くように工夫されている。特に、記述式問題では、根拠を書かせるように配慮されている。 ・「かきこみ」では、図やグラフ、モデルなどを用いて自分の考えが表現できるように工夫されている。 ・「わたしのレポート」や「探Q」を活用して、課題探究を通して思考力・判断力・表現力を身に付けていくための視点が示され、他のレポート作成の参考となるように配慮されている。 ・「話し合ってみよう」、「考えてみよう」、「表現してみよう」や「計画」「予想」「分類」「比較」「作図」などで理科の見方・考え方のポイントが何かを意識して学習活動が行えるように工夫されている。 ・「部活ラボ」、「お料理ラボ」、「深めるラボ」のコラムには、理科を身近に感じ、理科の有用性が伝わり、主体的な学習を促す話題が多い。また、「防災減災ラボ」や「サイエンス資料」で、防災・減災や日本の自然、伝統文化など幅広く身に付くように工夫されている。 ・「つながる学び」や「思い出してみよう」、「深めるラボ」、「発展」で小中高のつながり、他教科との関連を意識して学習が進められるように工夫されている。 ・ウェブコンテンツを見ることができるところには、QRコードが示されている。 ・注釈や図が本文の外側に配置されている。 		

令和3年度使用中学校用教科用図書の採択理由（ 5 ）

（かほく市教育委員会）

種 目	音楽（一般）	発行者番号・略称	27 教 芸
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵等が生徒にとって親しみやすく、音楽への関心が高まるよう配慮されている。 ・キャラクターの吹き出しには、生徒が音楽的な見方・考え方を働かせることができるよう、考える観点や生徒の思考の例が示されている。 ・「心の歌」では、我が国の自然や四季の美しさ、文化、日本語の美しさを感じることができるような歌唱共通教材が掲載されている。 ・2・3年下巻「ルールを守って音楽を楽しもう！」では、著作物や著作者の創造性を尊重する態度を育むために、音楽を利用するときに留意することが掲載されている。 ・1年、2・3年下巻には「曲の良さをプレゼンしよう」が掲載され、既習内容を活用して曲の良さをプレゼンする発展的な学習活動が設定されている。 ・学習内容と関連したウェブコンテンツを見ることができる箇所には、二次元コードが記載されている。 ・小学校、中学校9年間の系統性と一貫性を重視して学習内容が配列されている。 		

種 目	音楽（器楽合奏）	発行者番号・略称	27 教 芸
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・「コラム」や「Q&A」では、知識や技能の定着を図れるよう、楽器の音色や響きと奏法との関わりについての気づきや理解を促す内容が取り上げられている。 ・リコーダーの楽曲のページでは、新出の音の運指図を記載するとともに、巻末には「リコーダーの運指表」、「ギター／キーボードコード表」を記載することで音楽活動を通して知識や技能を習得できるよう配慮されている。 ・課題意識をもって協同したり思いや意図を生かしながら学習したりできるよう、キャラクターの吹き出しで考える観点や、生徒の思考の例が示されている。 ・演奏家の写真やメッセージなどが掲載され、楽器や演奏することでの興味、関心、意欲を高めるよう配慮されている。 ・学習内容と関連したウェブコンテンツを見ることができる箇所には二次元コードが記載されている。 		

令和3年度使用中学校用教科用図書の採択理由(6)

(かほく市教育委員会)

種目	美術	発行者番号・略称	38 光 村
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・「美術1」の冒頭部分で写真の下に、手書きで生徒の声・つぶやきがある点、制作過程が段階的に、解説付きの写真となっている点など、生徒には非常に参考となる構成になっている。 ・各ユニットの導入として「 って何だろう？」やイラストキャラクターがページを紹介する構成は生徒にとって親しみやすく、興味付けとなる。特に、小学校の図画工作と、中学校の美術との違いや美術で学ぶことが分かるようになっている。 ・「美術1」「美術2・3」ともに後半の「学習を支える資料」が学習ガイダンス的役割を果たし、分かりやすい。 ・生徒作品が多く掲載されており、特に制作前のアイデアと制作後の自己評価が紹介されているのが生徒にとって自分のこととして考えやすくなっている。 (2・3年 p46, 58, 72 など) ・「美術1」「美術2・3」ともに途中で紙質を変えている。手触りから訴えるものが感じられたり、トレーシングペーパーのページには吹き出し等の書き込みをしたりできる。アイデアが斬新で、インパクトがある。 ・QRコードから資料として作品が見られるだけでなく、彫刻刀の使い方など動画で音声ガイドを聞くことができ、生徒にとっては非常に参考となる。授業で利用でき、また、タブレット端末による個人学習も可能となる。 ・「美術1」p30の「風神・雷神」は説明が手厚く、日本伝統美術を重視する姿勢が感じ取れる点が良い。 ・日本の伝統色のページでは天然から来る色として捉えやすいように、画像が効果的である。 ・日本の美術・文化だけでなく、世界の文化遺産を特集する等、芸術性を高めるにふさわしい。 		

種目	保健体育	発行者番号・略称	2 東 書
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能の習得が図れるよう、「学習課題」と「キーワード」が具体的に示されるとともに、章末に発展資料及び確認問題に設け、知識の理解がより深められるよう工夫されている。 ・思考力・判断力・表現力等を育むための工夫として、1単位時間の学習ごとに「活用」の視点が盛り込まれ、考えを深め、説明する学習課題が設定されており、章末の「活用の問題」に繋がるよう配慮されている。 ・自主的、自発的な学習を促すために、イラストや写真、グラフなどの資料が適切に配置され、学びに向かう力を育成できるよう工夫されている。また、関連する内容について、より学びを広げたり、学習したことを自分の日常生活に生かすための視点や課題が示されている。 ・1単位時間で学ぶ項目ごとに「学習課題」が示されており、生徒の思考の流れに沿った学習が展開しやすいように工夫されている。 ・3年間で学ぶ学習内容の各章各項が、学年ごとに適切に配当されており、指導計画が立てやすいよう配慮されている。 ・「口絵」や「章末資料」では、オリンピック・パラリンピックや防災などの現代的な諸課題が取り上げられている。また、SDGs(持続可能な開発目標)の目標達成に向けた発展課題が示され、保健体育の学習で学んできたこととの関連を考えられるよう配慮されている。 		

令和3年度使用中学校用教科用図書の採択理由（ 7 ）

（かほく市教育委員会）

種 目	技術・家庭(技術分野)	発行者番号・略称	2 東 書
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 編末の「学習のまとめ」では、自己評価による学習内容の確認と、確認問題や重要語句の一覧を載せることで、学習事項の確実な定着ができるように工夫されている。 ・ 「技術の見方・考え方」、「発見！技術の最適化」や「技術の天秤」により、生活や社会とのかかわりの学習の視点を段階的に示しており、工夫が見える。 ・ 「伝統・文化」マークで日本の伝統を学ぶ場が設定されており、また、「技術の匠」では勤労観と職業観の育成やキャリア教育との関連が図られている。 ・ 「リンク」「他教科」「小学校」マークにより関連ページや他教科、小学校での学習との関連について理解できる配慮がなされている。 ・ イラストや写真と文章とのバランスがととてもよく、見やすさとわかりやすさに配慮されている。 		

種 目	技術・家庭(家庭分野)	発行者番号・略称	2 東 書
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の営みに係る見方・考え方について、ガイダンスや各編の導入でマークを用いて分かりやすく解説し、見方・考え方を働かせて理解を深められるよう配慮されている。 ・ 巻末の「言葉のページ」では、学習を理解するために必要な衣食住に関する独特の言い回しや名称の解説があり必要なときに活用できる。 ・ 各編の導入に「小学校家庭科での学習」を示し、学びのつながりを意識できるよう配慮されている。 ・ 各編の導入に「この編で学ぶこと」示し、見通しを持って学習を進めることができるよう配慮されている。 ・ 巻末の「防災・減災手帳」は、切り離して手帳として活用でき、災害に備えた生活を意識できる。 ・ 「プロに聞く！」では、学習内容に関連した職業に就く人からのメッセージが紹介され、学んだことを社会に生かす視点をもつことができるよう配慮されている。 ・ 各編の最後の「学習のまとめ」に「生活に生かそう」を設けることで、各編での学びを実生活に生かせるよう配慮されている。 		

令和3年度使用中学校用教科用図書採択理由(8)

(かほく市教育委員会)

種目	英語	発行者番号・略称	2 東 書
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の構成が、Unit(目的・場面・状況に重点を置いた4技能を使った学習) Stage Activity(複数の技能・領域を統合的に活用した自己表現)及びLet'sシリーズ(実生活に即したコミュニケーション活動)となっており、CAN-DOリストに基づいて段階的・系統的に学習が進められるよう配慮されている。 ・2、3年のUnitの「Read and Think」では3段階読み(概要・大意をつかむ 詳細をおさえる表現につなげる)を取り入れて、読んだことを表現(「要約」「発表」「やり取り」)につなげるように構成されている。 ・「Stage Activity」では、Unitの学習で身に付けた力を確かめ、段階的なステップを踏みながら、領域統合的なパフォーマンス活動ができるようになっている。 ・巻頭の「学習の見通しを立てよう」と巻末の「学習をふり返ろう」では、学習の見通しを立てたり、技能が身に付いたかを確認したりすることができるよう配慮されている。 ・「学び方コーナー」では、英語学習のポイントが系統的に紹介され、生涯に渡って英語を主体的に学ぶ態度の育成が図られている。 ・題材は、生徒の興味・関心に即したものをはじめ、防災・安全、環境・資源エネルギーなどの今日的な課題や伝統・文化、平和・国際貢献など多様であり、生徒の学習意欲を喚起し視野を広げる内容となっている。また、「Learning“・・・”in English」では、他教科の学習内容が扱われ、英語の視点で学びを深めることができるよう考慮されている。 ・1年のUnit1～5には「Enjoy Communication」が設定され、小学校で慣れ親しんだ表現を使って話す活動ができるよう配慮されている。小学校で学習した単語はアイコンで明示され、巻末に小学校の単語630語が一覧で見られるようになっている。 ・判型がA4判であり、単語数の増加に応じた本文・語句欄でありながら過度な負担にならないようになっており、豊富なイラストや写真が効果的に掲載されている。 		

種目	道 徳	発行者番号・略称	1 1 6 日 文
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「道徳科での学び方」では、対話的で深い学びにつながるように1時間の学習の流れが3ステップで示されている。また、発表や話し合いの仕方等、言語活動を充実させ、「考える道徳・議論する道徳」につながるように工夫されている。 ・問題解決的な学習や体験的な学習に適した教材には「学習の進め方」が示されており、授業の展開がイメージしやすくなっている。また、無理なく実施できる体験活動も工夫されている。 ・別冊「道徳ノート」は、心の成長の記録として一年間の生徒の個人内評価に役立てられるよう充実した内容となっている。1時間毎の記録に加え、学期ごとの振り返りや、保護者のコメントも残せるようになっており、学びを家庭に広げたり成長を励ます評価に活用したりできる。 ・系統的・発展的な学習ができるように学年テーマを設け、自尊感情や誇りと志を育てる工夫がされている。また、道徳以外での活用を意識した各教科と関連したコラムも掲載されている。 ・教材末の記入欄「自分に+1」では、学んだことを前向きに生かすことで自分に自信が持てるように工夫されている。 ・いのちの大切さや情報モラルなどの現代的な課題について、年間の見通しをもって学べるよう構成されている。また、「いじめ」について多様な題材が複数扱われ、起きやすい時期に配置されている。ユニットとして、より深く、多面的・多角的に考えられるよう工夫が見られる。 ・新ユニットとして「社会への参画」「将来の生き方」に関わる教材が複数扱われており、新学習指導要領で求められている「持続可能な社会の創り手」の育成が意識されている。 		